

## 開校にあたって

当法人は、「それいゆ在宅介護センター」を開設した2003年より、介護職の専門性を追求しつつ介護職員の育成を図るため、毎月研修を行ったり、必要に応じてカンファレンスを行ったりして、日々の中で育成を行ってまいりました。しかし、なかなか継続して教育に専念できないという問題もかかえておりました。

また、ホームヘルパー資格を取得するための研修内容は、「介護保険」を前提としたものであり、高齢者以外の方について学ぶ機会が少ないことも分かってまいりました。

ご存じのとおり、介護分野は、介護保険だけに留まるものではありません。まして当法人は、障がい児・障がい者の方々へのケアも多く求められています。当法人のヘルパーからも「障がいの利用者さんにどう接していいかわからない」といった意見や、理解度不足による誤解やトラブルが見受けられ、スキルの底上げについて模索していました。

そんな中、利用者様より「ボランティアで入っている学生さんたちが『ボランティアではなく、アルバイトになれば助かる』と言っている」との相談を頂きました。以前、当法人でそのような学生さんを対象に、「重度訪問介護」の研修を受けてもらい、アルバイトとして勤務していただいた経験がありましたので、「重度訪問介護」の研修について調べたところ、東京都ではその研修を行うところが本当に少ないことが分かりました。あったとしても、ALSの方のケアに入ることを前提としているなど、限定的な形でしかないようでした。

そこで、課題であった「介護職の教育」と「無資格者に対する研修」(重度訪問介護従事者養成研修)を行うことで、本来の介護の専門性を持つ人材をより多く育てたいと思い、「介護アカデミーそれいゆ」の開校に至りました。

介護アカデミーそれいゆ

校長 今村 眞弓